

自分の考えを、力強く 県少年の主張大会

第63回山形県少年の主張大会尾花沢大石田地区大会が9月3日(火)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。大会には中学生6名が参加し、この内大石田中学校からは、井上美咲さん(3年)と伊藤優里さん(2年)が出場し、自分の考えを力強く発表しました。この大会は、時代を担う子どもたちに、広い視野と柔軟な発想や創造性、論理的思考や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけるために開催されているものです。



井上さんは、「支えられた声」という論題で「部活動での辛い経験の中で、仲間や家族にかけてもらった言葉で支えられたこと」を主張しました。伊藤さんは、「私はやめない」という論題で「世界で起きている戦争により奪われる小さな命について、身近にないことであっても、考えることをやめてはいけない」と主張しました。審査の結果、井上さんが優良賞に輝きました。



武蔵野大学の学生が町を訪問 伝統のそば打ちや陶芸を学ぶ

武蔵野大学(東京都)の学生たちによるフィールドワーク(学外学修)が、8月19日(月)～8月30日(金)に町内各地で行われ、同大学の1年生32人が町の歴史や文化などを学びました。同大学では、学生同士や受入先の方との深い交流を通して、新しい価値観を育み、視野を広げ、専門課程における目標設定や学びの動機付けを促すために、フィールドワークに力を入れています。



今年で4回目の開催になり、学生たちは8人ずつ4班に分かれ、2泊3日の日程で滞在し、町内の歴史・観光名所巡りやそば打ち、陶芸、地域お

こし協力隊の講義など、地域住民との交流を通じて地域課題を考えました。同大学では9月14日(土)に、大学と町を遠隔で結ぶオンライン形式で成果発表会を開き、地域課題の解決策を提案しました。



高齢者ゲートボール大会 日ごろの練習の成果競う

第43回大石田町高齢者ゲートボール大会が9月3日(火)にクロスカルチャープラザ「多目的コート」で開催されました。

この大会はゲートボール競技を通じて、軽スポーツの日常化をはかり、仲間作りや健康づくりを推進しようと、毎年開催されているものです。今大会には、4チーム13名が参加し、優勝を目指し熱い戦いを繰り広げました。

大会結果は下記のとおりです。優勝されたチームの皆さんおめでとうございます。



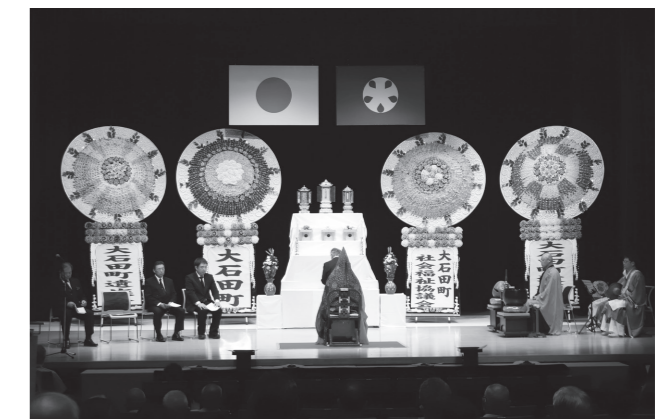
順位	チーム名
第1位	仲通・駒籠
第2位	上宿
第3位	上ノ原
第4位	四日町



スマホの使い方学んでみませんか? 無料のスマホ教室を開催

スマートフォン(以下スマホ)初心者を対象とした無料のスマホ教室が、9月3日(火)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。これは、IT(情報技術)を利用できる方とできない方との間で生じる格差「デジタルデバイド」対策の一環として、ドコモショップ村山店の協力で実施したものです。

受講者は、自分のスマホを持ち、写真の撮り方などを学んでいました。テーマは、毎回異なり、今回は「カメラの使い方」をテーマに二次元コードの読み取りなどを学んでいました。町では、今後も定期的に無料のスマホ教室を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。



大石田町戦没者追悼式 平和への祈りをこめて

大石田町戦没者追悼式が、8月20日(火)に挙行され、遺族や関係者ら約40人が参列し、先の大戦で犠牲となった町内出身戦没者300有余のご冥福を祈るとともに、平和への誓いをささげました。

参列者全員による黙とうの後、庄司中町社会福祉協議会長の式辞や来賓の追悼の辞に続き、町仏教会会員による導師法語・読経や参列者の献花が行われました。

最後に遺族代表の高橋恭悦さんから謝辞が述べられ、参列者一同で平和への誓いを新たにしました。